

# 新型コロナウイルス感染拡大による 影響に関するアンケート調査

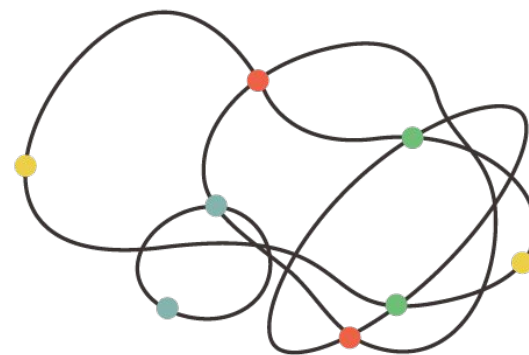
---

一般社団法人シェアリングエコノミー協会

2020年5月26日 現在

## INDEX

1. シェアサービス事業者編
2. シェアワーカー編



一般社団法人  
シェアリング  
エコノミー協会

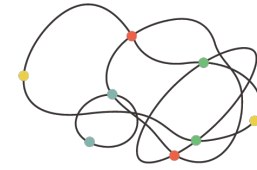
# はじめに

新型コロナウイルスの感染拡大により、外出自粛が要請される中、シェアサービスを提供する事業者や、シェアサービスから収入を得ている個人（シェアワーカー）が、どのような影響を受けているのかを把握するため、事業者・個人に対する調査を実施しました。

- 対象：協会の企業会員及び個人会員
- 方法：ウェブアンケート／回答：企業19社、個人40名
- 期間：2020年4月23日（木）～5月8日（金）

事業者・個人ともに、全体的には利用の減少による影響を大きく受けていることが改めて分かりましたが、一方で、オンラインニーズへの対応や、リスク分散を意識した働き方へのシフトなど、ポジティブな変化や期待も見られました。

協会では、今後も継続的に状況を注視するとともに、今回の調査結果を踏まえ、行政や関係各所への働きかけも含め、シェアリングエコノミーのさらなる健全な成長・発展に向けた取り組みを行って参ります。

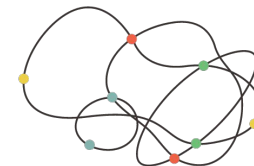


# Chapter 1

## 【シェアサービスを提供する事業者編】

新型コロナウイルス感染拡大による  
影響に関するアンケート調査

# 1-1 事業への影響



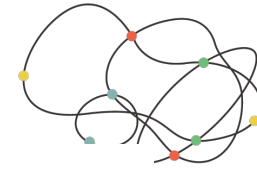
## 利用／売上が減少している

- サービス利用の減少(ライドシェア、家事代行、傘のシェア)
- 3月50%に減、4月～5月20%に減(地域体験シェア)
- サービスの新規ユーザー登録数の減少 / 新サービスのリリース延期(旅行者とガイドのマッチング)
- ドローンの練習、空撮需要の低下により、ドローンユーザーの利用者が減少している。外出できない状況が続く限り、この傾向は続くと思われる。(ドローン用上空シェア)
- 全てのサービスが停止状態です(旅先での通訳サービス)
- 対面でのインタビューマッチングを停止。電話、web会議でのマッチングはこれまで通り。(専門スキルシェア)
- イベント等の自粛による売上減少(子育てシェア)
- 試着のできる実店舗のクローズにより売上減少(ウェディングドレスシェア)
- 鉄道利用者の減少(鉄道事業者)
- 売上減少、自粛対象要請施設および業種(時間貸しスペース賃貸)
- サービス利用の減少(ほぼ利用なし)(販売スタッフマッチング)
- 予約の減少、レッスンの停止(料理教室)

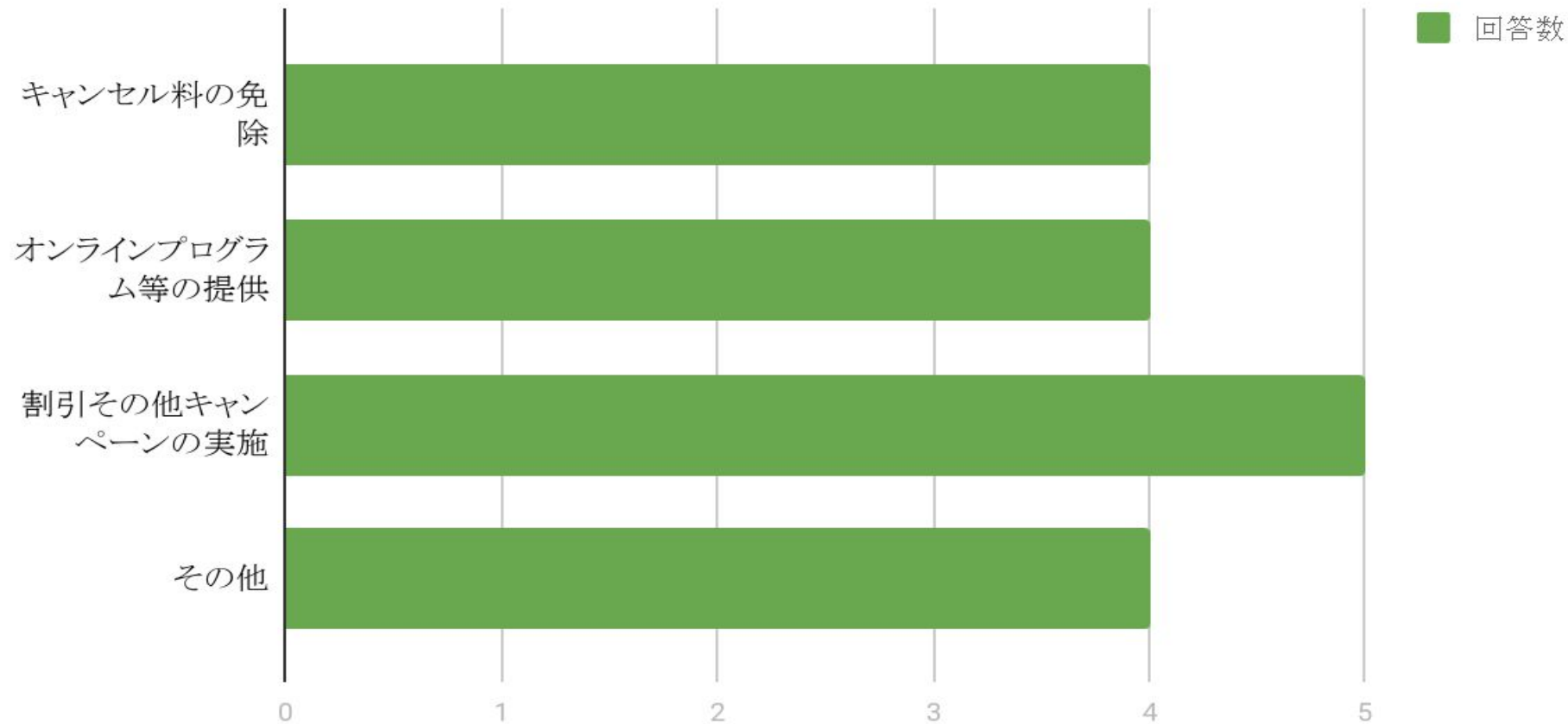
## 利用／売上が増加している、影響を受けていない

- 売り手は倍増。買い手は、ニーズの種類によるアップダウンがあるが、総じて影響はない。企業のオンラインシフトを受け、HP制作やオンライン広告の作成、アドバイス等が好調。(オンラインスキルシェア)
- サービス利用の増加。オンライン学習サービスなので、滞在時間・アクティブ利用者が増加している。(プログラミング学習教材マーケットプレイス)
- サービス利用は増加。在宅時間が増え、自宅の掃除や整理をされている方が増えているようで、宅配型トランクルームのニーズは増加しているようです。(宅配型トランクルーム)
- オンライン体験の需要は増えている(地域体験シェア)
- 人を介さないソリューションとして、ドローン空輸の需要は各所から上がっている。(ドローン用上空シェア)
- 自宅試着サービス(ウェディングドレスシェア)
- 企業向けの広告枠は影響小(傘のシェア)

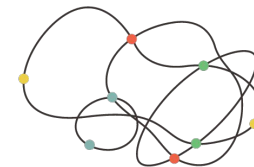
## 1-2 実施している支援策



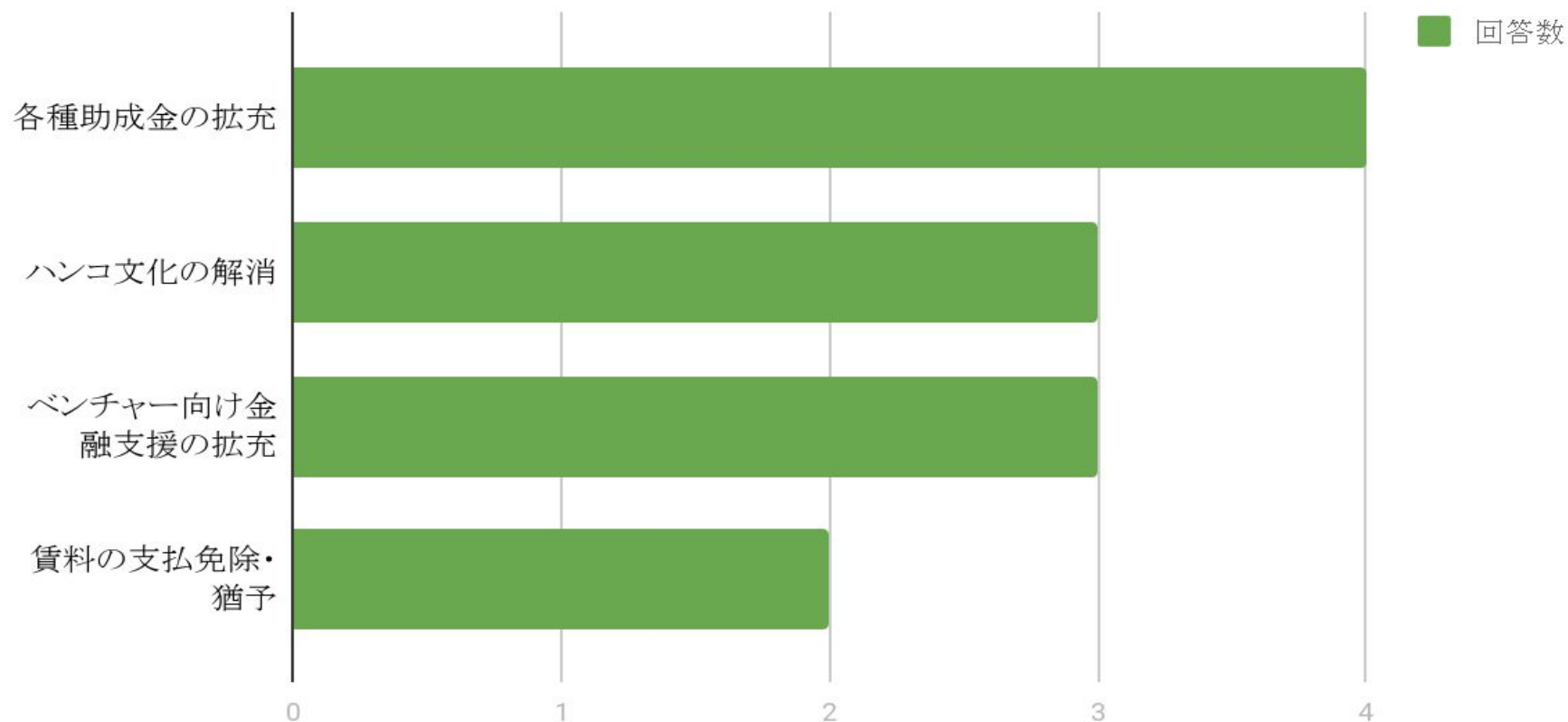
利用者(ユーザー、ホスト)に対して実施している支援策があれば、具体的に教えて下さい。



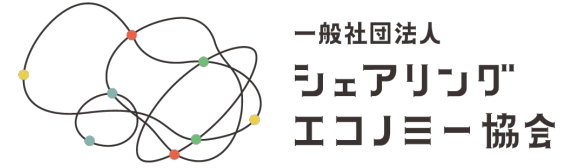
# 1-3 政府への要望



政府が実施している企業や個人向けの支援策その他の制度について、要望があれば、具体的に教えて下さい。

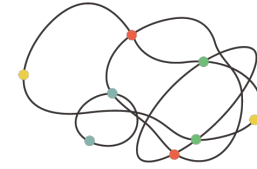


# 1-4 シェアリングエコノミー に対する今後の予測



- オンライン化に寄る地方創生。オンライン化に寄る言語圏を超えたノンバーバルなシェアなコミュニケーション。街や都市よりもインターネット空間における居心地。オープンなシェアから、クローズドなシェアへ。
- 業界によりプラスマイナスは出るが、総じて個の時代へのシフトはスピードがあがる。出社しない働き方、一社だけではない複業などが当たり前になる。それを前提とした制度設計が必要になってくる。
- プロダクトドリブンなサービスは亡くなり、ユーザーの課題解決を念頭に置いたサービスは不滅だと考えます。身近な例では、3密を避けられない業態である Airbnbが即時オンラインエクスペリエンスを打ち出しており、オフラインのエクスペリエンスをより手軽に実現できるように柔軟に対応してたりなど。シェアリングエコノミーの表面だけ見れば、家や宿・車などの有形資産を扱うシェアサービスは減少し、オンラインで完結する無形資産(スキル・時間など)は存続するようには見えますが、本質的には上述の「ユーザーの課題を柔軟に解決するためのソリューション」を構築していけるサービスが生き残ると考えます。また、このコロナを契機にシェアリングサービスの企業全体が改めて、ユーザーの本質的な課題解決になっているプロダクトを提供しているのか？を考える機会になるのではと考えています。
- Airbnbに代表されるように大きな逆風が吹いている「リアルを重要視するシェアエコ」もあれば、オンライン診療に代表されるように追い風となっている「オフラインを重要視するシェアエコ」もある。伸びる業界、落ちる業界がシェアエコの中にもでてくる中で、そこに耐えた企業群の経営はより一層強くなる。長期的に見るとこの逆風の先には強い経営をするシェアエコが今まで以上に加速していくと思う。
- 各種保険制度(社会保険や失業保険など)の改革によっては、個々人の収入に対するリスク回避のツールに発展していくように感じる。
- インターネットサービスに閉じたサービスは成長するが対面活動を伴う事業はボラティリティが高い

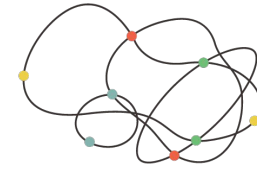
# 1-4 シェアリングエコノミー に対する今後の予測



一般社団法人  
シェアリング  
エコノミー協会

- オンラインでのスキルシェアの拡大
- 家の中での居心地の良さや家族との絆といったことに価値が高まりそう。
- 社会の変化に対応するサービスに進化していくと思う
- 外出自粛により、オンラインで人と繋がる機会が増えて、オンラインで人と繋がる系のサービスはもっと使われるようになると思う。
- 在宅勤務の拡大・定着、人の分散化
- これまで見落とされていた施設の利点の見直し(豪華、眺望などではなく)
- 働き方が見直される中で、在宅ワークやアドレスホップが加速し、時間と場所を問われないワークスタイルが増加すると考えています。伴い、その人々のシェアサービス利用が増加するのではと考えています。
- オンライン体験、国をまたいだ体験の利用促進
- コロナのあとで元通りに戻らなかった場合、外出時の非常事態などのためのプロダクトはニーズが以前より落ちるため、販路をオンラインに確保したとしても、そもそもの必要がなくなる。
- 一般的には、人や設備が余ってくるのでシェアリングの供給側が増加し、サービスとしては拡大すると考えています。一方、当社が関わる物流分野では、人との直接の接触が難しくなってくるためロボットや自動運転を積極的に導入する必要があり、それら設備のシェアのための倉庫のシェアリングのニーズが増えてくると想像しております。



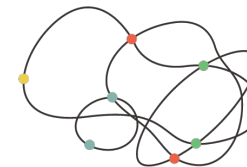


# Chapter 2

## Chapter 2 【シェアサービスから収入を得ている個人(シェアワーカー)編】

新型コロナウイルス感染拡大による  
影響に関するアンケート調査

## 2-1 就業形態



一般社団法人  
シェアリング  
エコノミー協会

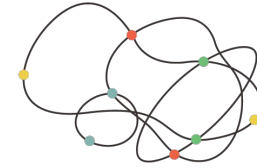
### 「雇用＋シェアサービス」の組み合わせで収入を得ている人が **60%**

あなたの就業形態を教えてください。

40件の回答



## 2-2 ホストとして利用しているシェアサービス

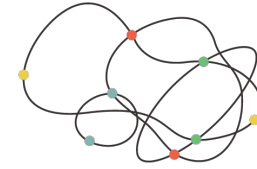


一般社団法人  
シェアリング  
エコノミー協会

### 利用しているシェアサービスの種類は幅広い

- ロコタビ(海外在住日本人ガイド)
  - レンタルスペース
  - 観光ガイド、通訳
  - Timeticket(スキルシェア)
  - TABICA(地域体験シェア)
  - タスカジ(家事代行)
  - ストアカ(オンライン習い事)
  - Airbnb(民泊)
  - ガイドマッチングサービス/フリマアプリ
  - ランサーズ、クラウドワークス(クラウドソーシング)
  - カーシェア、スペース
  - 民泊、シェアハウス、シェアサイクル
- レストラン予約、通訳など
  - 現地調査、観光案内、通訳、商談同行
  - Buyma(ブランド品売買)
  - ココナラ(スキルシェア)
  - 体験シェア、食事シェア
  - オンラインメイクレッスン
  - タスカジ、ココナラ、メルカリ
  - 旅行者ガイド
  - レンタルスペースを運用しています。

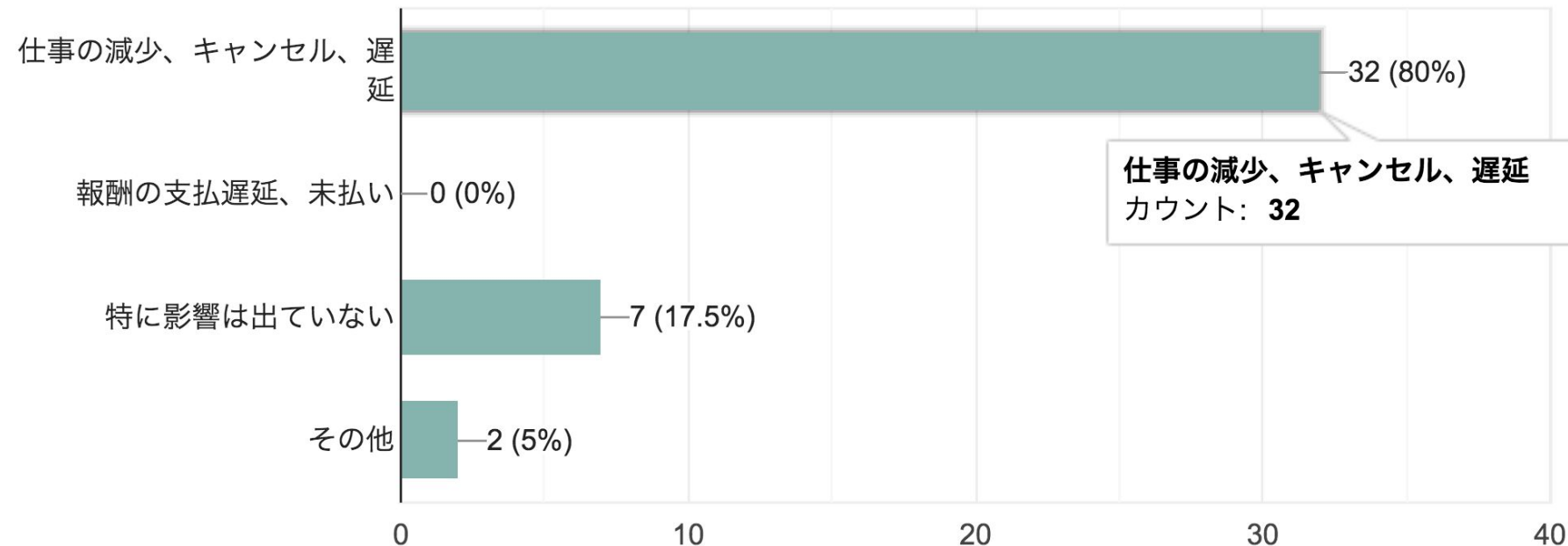
## 2-3 シェアサービスを利用した仕事への影響



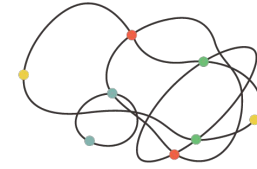
一般社団法人  
シェアリング  
エコノミー協会

### 仕事の減少・キャンセル等に直面している人が 80%

新型コロナウイルスの感染拡大により、シェアサー...事について、どのような影響が生じていますか。  
40件の回答



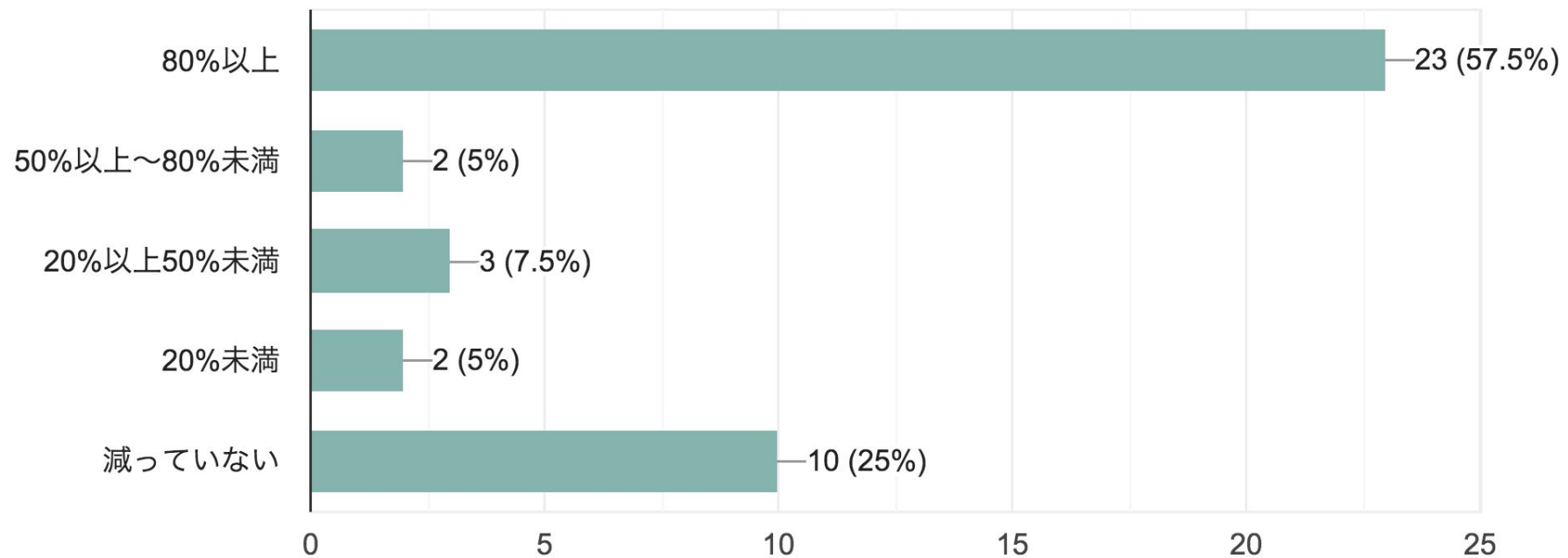
## 2-4 シェアサービスを利用した仕事の収入の変化



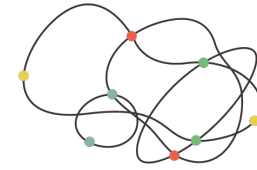
一般社団法人  
シェアリング  
エコノミー協会

約60%の人が **80%以上収入減**、一方で影響を受けていない人も一定数存在

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、シェアサービスによる収入はどの程度減っていますか。  
40件の回答



## 2-4 シェアサービスを利用した仕事の収入の変化

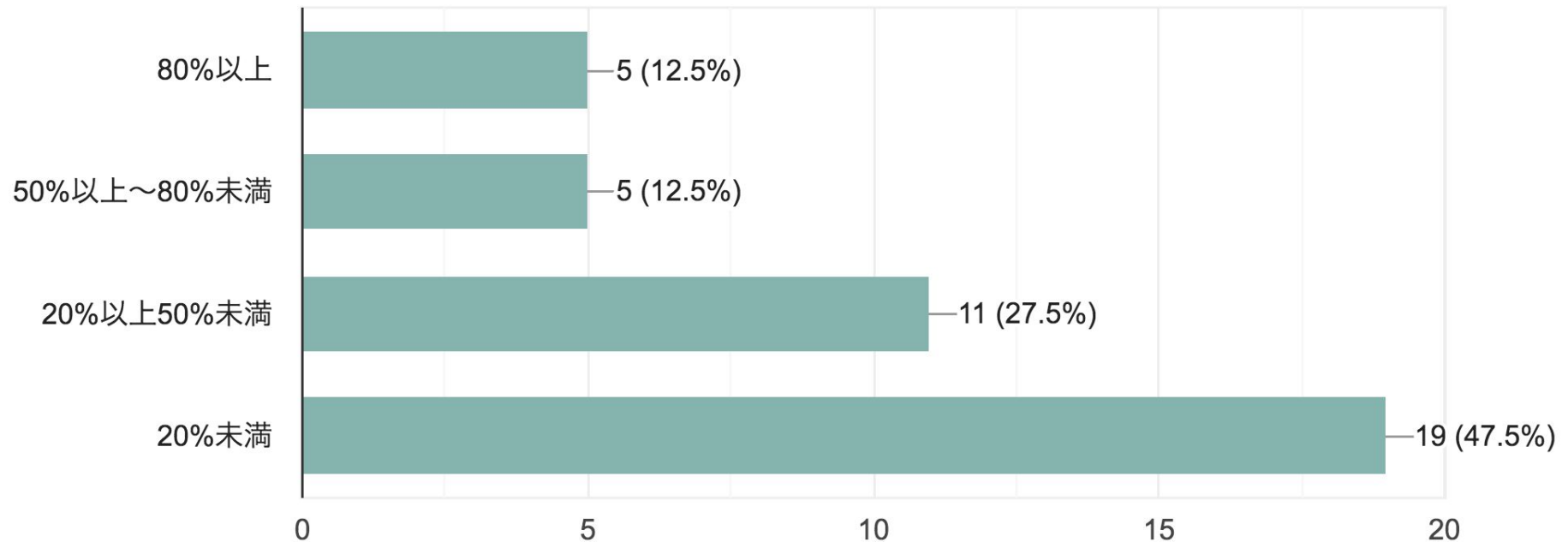


一般社団法人  
シェアリング  
エコノミー協会

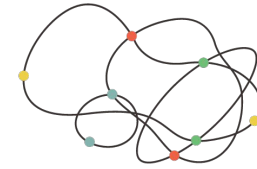
世帯収入への影響度合いは、20%を境に約半数ずつ

世帯月収のうち、シェアサービスによる収入の割合はどの程度ですか。

40件の回答



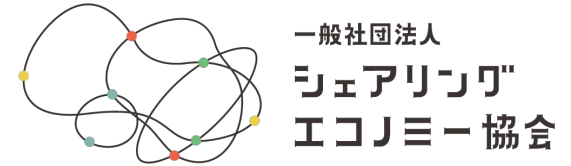
## 2-5 仕事や生活の不安や悩み



一般社団法人  
シェアリング  
エコノミー協会

- 全くの失職状態で、いつまたお仕事ができるのか分からず、非常に不安です。
- いつ仕事の依頼が再開するか、元通りになるか先が全く見通せない
- 外出自粛がどれだけ長引くとどこで問題がどのように出てくるのか(予想範囲で可)説明が欲しいです。
- 事務所家賃支払いが大変。
- 家事代行が主になっているが、乳幼児がいるお家への訪問は中止している。しかし依頼者さんも生活に必要なだから使っていたサービスだし来て欲しいという声はいただいている。ましてやこの自粛生活で溜まっているストレスに家事の負担や、子供や夫と24時間一緒にストレスのやり場のなさからフラストレーションが溜まっている様子がかうかがえるので訪問できないことに申し訳なさや、なんとか支援したいという思いを抱えている。
- 海外在住で法人向けのビジネスサポート、観光などのお手伝いをしていましたが、海外への出張や旅行ができない状況のため、全ての予定がキャンセルとなりました。海外在住の強みが完全に失われた状況です。
- コロナの影響が長引くこと、景気悪化による悪循環などコロナ対策、経済対策が不十分で不安が大きいです対面での商談などができずオンラインの商談などが増えてきていますが、何故セキュリティリスクが高いZOOMの使用を規制しないのか？フリーランスのエンジニアとしては仕事がやりにくくてたまらないです。
- 今後のオンラインを中心として働き方への対応。仕事が貰えるか、あるのか。
- 案件がまた取れるか予測がつかない
- 観光客向けのサービスがいつ再開できるか。
- 今後の不安
- 収入不安
- 拠点を移動しながら多様なコミュニティと交流し情報交換することが難しくなっている。
- 民泊物件のローンがこのままだと支払えなくなってしまう

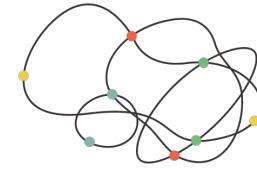
## 2-6 仕事や生活の不安や悩み



- 海外在住です。シェアサービス以外の仕事もしていましたが、全てが観光関連のお仕事でした。外出制限の出ている今だけでなく、その後も仕事のできない期間が長く続きそうです。国境封鎖が長く続きそうなので、お客さんも入ってきませんし、日本に帰ることもできません。この先、外国人としてこの国で生きていくためにはどうすればいいのか、見通しが立っていません。
- 本業もどうなるか不安なので副業を増やしたい
- 海外で働いている為、入国制限が有り旅行や帰国が出来ない
- いつインバウンドが回復するか先が見えないので、このまま民泊を廃業して賃貸物件を手放すべきか、何とか凌いでまた再開できる日を待つべきか悩んでいます。
- オンラインでの商品の購入は可能だが、郵便局での日本への配送ができない。
- 家族以外の人とのコミュニケーションや新たな人との出会いが減っている
- 給料がこれからいつもより減るのではないかという事
- 消毒液がない、大人数は断りを入れているのが忍びないがクラスターになるのが怖い、単価が安くなってしまった、家賃の減額請求をしたが取り合ってくれない、手数料を一時的に下げた欲しいが特にホスト向けの施策がない
- コロナの影響で観光客がいなくなり、受注済の仕事が全てキャンセルになり、無収入状態になった。今後も全く見通しがつかず、保障もないので、経済的に困窮している。外出禁止で失業者多数の現状、他の仕事を探すにも難しく、途方に暮れている。
- 収入の激減。影響の長期化による不安。
- このまま収入が、減り続けたら生活が出きない
- 家事代行で個人宅に伺うため、3密ではないもののこちらから相手に感染させてしまうリスクはないとは言えないので、活動再開がいつになるかわからない。
- 今後ガイドでの仕事は減るであろうので別のことに業務を切り替えなくてはならない
- 期待した収入が得られないので、計画中のことが先送りになっている。
- この状況がいつまで続くか分からないのが一番の不安。
- スペースを運用していますが、このまま続くとヤバイですね。自粛解除されても、今後ユーザーが消費を促進するかが不明なのが悩み。

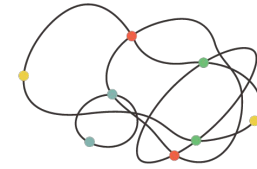


## 2-7 政府へ希望する支援策(短期的)



- 今も一応ありますが、自営業向きの失職保険
  - 現金給付
  - 30万円の給付金が支給されるとありがたいです。
  - 賃貸料の支払い延期支援や、ペンディング・ホールディング支援など。
  - 賃貸補助
  - 納税免除
  - 正確なコロナ情報公表
  - 政府の支援があるのであればどんなことでも大歓迎です。
  - コロナが落ち着くまでの家賃、ローンなどのモラトリアム
  - コロナの影響で収入が減った際の、減少分の支援。
  - 給付金
  - 現金給付を拡充してもらえるとありがたいです。
  - 明確な収入減少に対する補償
  - 確定申告の保留継続。
  - 休業補償
  - 行政職員の心からの支え
  - 条件5000万までの安定化融資
- 正確な情報の伝達により社会不安を軽減する施策。お金を使うなら情報環境の充実を重視すること。国内からのオンラインアクセスについて期間限定で全サービス無料化。
  - 現金支給
  - 10万の給付金
  - 日本に住民票がないので、10万円の給付金を受け取ることができません。海外在住の日本人でも日本に銀行口座を持っていたら、受け取れる仕組みなどあれば助かります。
  - 現金給付、税金免除
  - 家賃、生活費の支援
  - 補助金
  - 空室に対する家賃補助や、コロナの影響でキャンセルされたもののキャンセル料の補填があるだけでも短期的には助かります。
  - 国際郵送などの貨物便を少しでもいいから再開してほしい。
  - 現状、自分自身は大きく賃金が下がっているわけではないが、さまざまな業種で減収となる人は多いので、金銭補助は継続したほうが良い。
  - 医療費用無料
  - 所得税の減免、消費税の減額
  - 個人の民泊収入を持続化給付金対象に変更してほしい
- 現金の支給
  - 現金給付。
  - 毎月給付金が欲しい
  - コロナを理由にキャンセルや日程変更した分の補償
  - 月々に決まった額が支給されると次の事業の計画が立てやすい
  - 一時金援助。返済しなくてよいもの。
  - 海外に住んでいる日本人にも何らかの支援があれば大変助かると思う。
  - 支援策というより、申請から支給までのスパンの短さ。

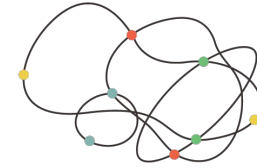
## 2-8 政府へ希望する支援策(中長期的)



一般社団法人  
シェアリング  
エコノミー協会

- 失職保険
  - 各支払いの免除・減額措置
  - 支援金があると助かります。
  - 経済支援の現金支給など。
  - 事務所家賃などの補填
  - 他の仕事の斡旋
  - 税負担を下げる。補償をたくさんすれば、あとでそのマイナスを何らかの形で補填するだろうから。それが個人に来たら生活破綻する。
  - 政府の支援があるのであればどんなことでも大歓迎です。
  - コロナが落ち着くまでの家賃、ローンなどのモラトリアム
  - 失業した際の失業保険を最低6ヶ月以上にしてほしい。
  - 無利子の貸付
  - 所得税、消費税の減税です。
  - 何らかの仕事の斡旋のようなもの。
  - 給付金
  - 地域のコミュニティと結びついた「場」運営への参加励行を前提とした税制優遇。たとえばコミュニティマーケットでの購買における消費税を0%とする、コミュニティ内での消費活動にかかる事業収入について所得減税を行うなど。コミュニティ内での自足を促す施策。
- ベーシックインカム
  - 消費税の減税
  - 個人的に支援を受けることは難しいと思いますが、アフターコロナの国際経済には、日本には頑張ってもらってほしいと思っています。現時点では、日本は比較的、経済打撃の小さい国だと思います。今の体制でしっかりと感染を封じ込めること、その後、日本人が頑張って、国際経済を動かしていけることを期待しています。日本国内で保守的な経済政策を行うのではなく、国際社会に貢献できる形、日本人が海外に出やすい形を取って欲しいです。回り回って、私たち海外に住む日本人にもパワーがもらえますように。
  - 税金免除、軽減
  - 継続的な給与保証
  - 金利優遇政策等
  - こちらも長期的に家賃を減額していただけたら、廃業して民泊物件を手放さずにいることができるので、助かります。
  - 国際郵送などの貨物便を少しでもいいから再開してほしい。
  - 正規雇用も怪しくなってくるので、テレワークが可能な就業機会の創出
  - 月の補助金
  - 所得税の減免、消費税の減額
- 所得税の減免、消費税の減額
  - 休業補償金支給
  - 保障制度
  - シェアサービスは国の様々な規制が足かせになっているので、個人事業の立ち直りのスピードを早められるよう、適宜規制を緩和してほしい。
  - 毎月給付金が欲しい
  - コロナに感染した場合の休業補償
  - 個人事業主への期間限定の減税等
  - 毎月の資金援助。
  - 現地での日本大使館・総領事館からのちゃんとした情報、住んでいる場所と状況によって政府からサポート
  - 世の中的に安心して消費活動ができる情報発信。

## 2-9 今後のシェアサービスを活用した働き方について

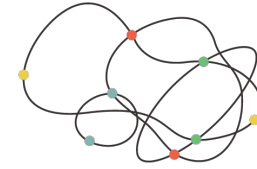


一般社団法人  
シェアリング  
エコノミー協会

- 収入源を増やす、専門性に磨きをかける
- オンラインで完了する仕事も受理していきたいと思っています。
- 観光で実際に現地訪問をした人だけでなく、近い将来訪問を予定している、もしくは訪問してみたいと考えている人向けのオンラインガイドや相談などを受けるサービス。あるいは訪問に関係なくおしゃべりして誰かと繋がっている安心感が持てるようなサービスが提供できればいいと思う。
- ライティングを始めました。
- 適度なバランスによる複数職業
- 1つに頼るのではなく、キャッシュポイントをたくさん作っていくこと。オンラインなどの活用できるスキルを身につける
- 今後このような仕事、もしかしたら業界自体が無くなってしまおう(良くて縮小は否めないかと)かと思い、これからどうするか思案中です。
- オンライン完結型のシェアサービスを推進したいと思っています。
- 様々なシェアサービス、プロジェクトを複業的に掛け持ちする働き方。
- 記事のライティングを始めました。
- 新しい働き方を考え、必要とされるサービスを打ち出す
- 短期的に落ち込んでますが、シェアは必ず復活すると思うので、めげずに継続していきたいと思っています。

- オンライン飲みや動画のUP等が活性化してきているので、スペースの有効活用を促せるようにしたい。
- サービス利用者がいないのであれば、今まで提供してきたサービスを辞めざるをえない。
- ニーズにあわせて考えていく
- ゴーストキッチンの運営
- オンラインを通じて各地域のコミュニティへの複合参加。多地域・多種のコミュニティに属することで社会生活上のリスクを軽減する生き方を求めていると思います。
- オンラインで仕事ができる様に考えたいと思います。
- 可能であれば、オリンピックまでに民泊を通常稼働に戻したい
- 現地での経済活動が難しい中、日本人と関われるシェアサービスを探していくことは必要不可欠になります。時代の変化に応じて、色々なサービスが出てきて、日本を離れていても活躍できる場が増えるといいなと思います。
- 本業も心配なので副業も増やしたい
- 暫くはオンラインで情報収集、情報シェアをしながら模索中です
- オンラインを活用したサービスの増加
- 柱となる事業は残しつつも、リスクヘッジできるようなサブの事業をもっておくことが大切だと思いました。

## 2-9 今後のシェアサービスを活用した働き方について



一般社団法人  
シェアリング  
エコノミー協会

- 在宅で個人輸入などのお手伝いをしている人は致命的な経済ダメージが大きいと思いました。特に郵便局での国際郵便配送が不可能になるとは思っていなかったのですが、割高になりお客様への負担は大きいですが他の配送会社なども視野に入れるべきだと思いました。
- 正規雇用の賃金も減る傾向なので、シェアワークを含めた副業の収益を増やしていきたい
- 今後はオンラインを使用した仕事が増えていくと思うので、自宅から発信出来るアイデアを考えて働きたい。
- 収支が改善したら、今後の動向を予測したスペースを立ち上げたい
- 内需とインバウンドの比率を見極めながら事業展開していく
- この仕事が好きなので続けて行きたいが、今年は無理、規制が解けてもあと数年は難しいと思う。サービスの範囲を広めて、新しい物を見つけて行きたい。
- 今後も継続していきたい。
- 公認プロジェクトにしてもらいたい。
- もっと頻度を上げていきたいと思う
- オンラインで完結できるサービスの拡充やオンラインだからこそできるコミュニティの活性化に力を入れていきたい。
- 今まではガイドをしてきたが、ネットでサービスできる別のスキルを生かした業務形態に切り替え始めている。

- オンラインサービスを提供できるようコンテンツを考えたい。
- 今までは観光を主にシェアサービスを使っておりましたが、コロナウィルスでの影響が少ない仕事を増やす(翻訳など)
- 現状維持。